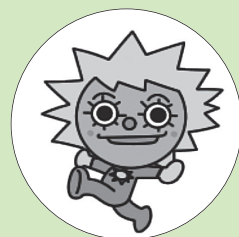




みんなでつくろう
生活リズム

No.52



はやおきくん
©やなせたかし

早ね 早おき 朝ごはん

子育て支援センターは、育児不安などについての相談・指導、子育てサークルへの支援を通して、地域の子育て家庭に対する育児支援を行っており、総合保健福祉センターと日の出保育園に設置されています。

乳幼児期の生活のリズムは一人ひとり異なります。子育て支援センターに來所するのは、0歳から1歳半くらいの未就園児の親子が主です。

初めて赤ちゃんが経験する離乳食。離乳とは、母乳やミルクの栄養から幼児食に移る過程でもあります。お母さんたちの中には、「口に運んでも、舌で押し出して食べてくれないんですよ」と心配される方もいます。

離乳食はお母さんと赤ちゃんの二人三脚。ゆったりとした気持ちで始めることも大切なのではないのでしょうか。健康やかな子どもの成長発達を願うには、まず、母親自身が安心して子育てできる環境も大切です。

核家族化が進み、子育てが地域の中で孤立し、母親が育児不安にとらわれやすくなってきた中、子育て支援センターとして少しでも育児不安を取りのぞき、生活の基礎を親子と共に考えていきたいと思っています。

須崎市子育て支援センター

『はっぴいぼけっと』保育士
宮崎 紀久代・吉村 初美

今日も一緒に遊ぼうね



「はっぴいぼけっと」に集い、語らう親子の皆さん



お子さんの写真を募集します。

就寝時・起床時・食事風景・遊び・家族とのふれあいなど、子どもさんが主人公となる写真（家族といっしょでもOK）を募集します。

須崎市教育研究所
☎40・0078



▲木造地藏菩薩半跏像



木造阿彌陀如来立像▶

神田

にある子安地藏堂の中に、木造地藏菩薩半跏像と木造阿彌陀如来立像が収められている。

木造地藏菩薩半跏像は、高さ15cm、寄木造りである。

着衣は赤褐色で、左手に宝珠、右手に錫杖を持つて蓮華座に座し、左足を垂らしている。

面相部は穏和な慈顔であるが、金箔で厚く修理している。製作様式から鎌倉期の作で、安産の地藏

様として人々に信仰されている。

木造阿彌陀如来立像は、高さ130cmで、同じく寄木造りである。

玉眼、衲衣を通肩にまとい、衣褶の線を強調している。腹部前で定印を結び、左足をやや前方に踏出し定印を結ぶ立像は珍しく、室町時代の製作である。

棟札によると、両像とも安永3年、京都仏師岡本左近の修理銘がある。

すさぎの文化財

子安地藏堂の仏像
神田寺山

その四十六